

把持性能3倍重さ1/3

NKE、新型エアチャック

【京都】NKE（京都市伏見区、中村道一社長）は、把持性能が同社従来品比3倍超で、体積と重さは同約3分の1と小型・軽量な新型エアチャック「ウルトラフォース」シリーズを9月1日に発売する。顧客が従来と同じ産業用ロボットに新型を使うと軽量化分だけ可搬質量が増やせ、同じ重さの対象物（ワーク）を新型でつかむ場合は以前より小さなロボットで運用可能。また、ワークをつかむチャックの開閉幅が同じだと、把持力は新型の方が高い。

空気圧を使って部品

0円から。年100台の販売を目指す。

独自の開発の新機構の省エネルギー性能も高めた。

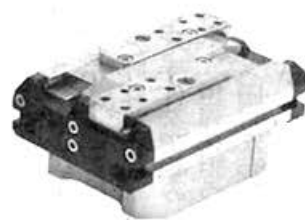
来品比で約2分の1とラインのレイアウトの自由度を高め、限られたスペースへの設置を可能にする。ロボット

や製品をつかむエアチャックの新型で、把持性能は業界最高という。シリーズはチャック開閉幅が40ミリと80ミリの2種。消費税抜きの価格は22万8000

採用で3倍超の把持性能、約3分の1の小型・軽量化に加え、エア消費量と二酸化炭素（CO₂）排出量が従

重量は開閉幅40ミリタイプで1170g、同80ミリタイプが1580g。軽薄短小で産業用ロボットや自動化

ラインのレイアウトの自由度を高め、限られたスペースへの設置を可能にする。ロボットアームへの搭載性に優れており、工程全体の生産効率向上にも貢献が見込める。



新型エアチャック「ウルトラフォース」シリーズ

するための太くて短い大シリンダーを用いた2段階制御の仕組み。この機構の開発で、太くて長さもある大きなシリンダー一つで全制御を賄っていた通常のエアチャックと比べて小型、軽量化できた。

新機構は把持開始時、省エネで動ける細長い小シリンダーと、把持後に力強くグリップする。

ロボットの停止時の慣性力の影響も小さく、